

令和4年度

公益財団法人宇治市野外活動センター

事業報告書

令和4年度 公益財団法人宇治市野外活動センター

事業報告書

1. 年度総括

令和3年度に公募により実施された指定管理者選定を経て、令和4年度からの5年間、指定管理者として引き続きセンター運営を受託することが決定した。

当法人はお客様がアクトパルを創り育てる人となっていただけるよう、Make it together をキーワードにして、笠取の自然の中で豊かな心や公共心を涵養できるよう次の3つのミッションを柱とした事業を展開した。

○豊かな自然の中で野外活動を楽しみながら日常生活を見直し、環境について考える機会を提供する。

○自ら学び自ら考える力を育むことができる教育施設として、活動の場を提供する。

○地域に根づいた事業を展開し、笠取地域の活性化、宇治市さらには近隣地域のグリーン・ツーリズムに貢献する。

令和4年度より新たに「利用料金制度」が導入されたが、これをより自立した経営力を発揮するチャンスととらえ、お客様のニーズに合わせたテントエリアの拡大や予約不要工作イベントの開催等、収益増に向けた取り組みを進めるとともに、各種委託業務契約の内容や人員配置の見直し等、必要経費の削減にも努めた。また、お客様の利便性を高めるため施設ホームページのリニューアルや、電子マネー・クレジットカード等のキャッシュレス決済を導入した

施設管理においては経年による消耗・劣化箇所の点検修理を実施、緊急的な修繕も適宜実施し、お客様に安心安全にご利用いただけるよう努めた。

有限会社笠取ファームとは連携を密にし、イベント協力や新規メニューの販売、新型コロナウイルス感染症対策等、必要に応じて協議の場を設けた。

令和4年度も影響の続いた新型コロナウイルス感染症についても、職員お客様の健康チェックや各所の消毒など日常的な対策の徹底をはじめ、京都府の「新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」等を参考に施設の感染予防対策を講じ、感染者が発生した場合も保健所や自治体と連携を図り適切に対応した。また、京都府の「きょうと魅力再発見旅プロジェクト」に参加し、利用の促進を図った。

8月には開所以来の累計利用者200万人を達成した。記念式典は台風のため中止となったが、後日「200万人記念抽選会」を実施した。

年間利用者数は77,849人と前年比で約7割増加したが新型コロナウイルス感染症の拡大が年度前半の大きな利用減少要因となり、当初予算額より利用料金収入が約760万円の減収となった。また、社会情勢の影響により電気料金も大きく値上がりし、当初予算比で約220万円の支出増となった。

これらの予想されていなかった不可抗力要因が収支に大きな影響を与えることになったため、リスク分担にかかる宇治市との協議の結果、令和4年度は指定管理料を約390万円追加する形で指定管理変更契約を締結した。

2-1. 公益目的事業

(1) 活動支援事業

お客様が施設を利用されるにあたり円滑に活動できるよう、天体観察プログラムを案内する天文ボランティアの調整や、創作活動の補助、農業体験の実施調整等の支援を行った。

また、より充実した活動プログラムの開発を行うための野外活動等に関する最新情報の収集を行った。

(支援の例) 天体観察での天文プログラムの実施、陶芸や木工作品等の創作活動の指導・助言、農業体験やふるさと体験等の実施

(2) 野外活動奨励事業

気軽に野外活動に親しめる機会を提供するために予約不要のイベントを開催し、幅広い層に宇治市総合野外活動センターの利用が促進されることを目指した。

「春のひろば」「秋のひろば」「アクトパルであそぼう」等の施設全体を使ったイベントで宇治市総合野外活動センターのPRを図り、利用の減少する冬期には「体育館であそぼう」「わいわいホリデー」等集客につながるイベントや、天体望遠鏡での星空観察イベント「星空オープンデー」を開催した。

新たに予約不要で利用できる工作イベントとして「つくってあそぼう」(コマ、万華鏡、たたき染め等)を実施した。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、一部イベント内容を縮小した。また、感染発生の際に追跡できるよう、受付で参加者の連絡先を記帳いただいた。

(3) 活動体験事業

丁寧なサポートと充実したプログラムを提供するために、定員を設けた有料イベントを企画・実施し、生涯学習の推進を図った。

新型コロナウイルス感染防止対策として、募集定員を6割程度に縮小、施設利用時の参加者同士の距離確保、プログラムを短時間化、参加家族同士の交流も避け、感染発覚時に参加者の追跡ができるようにした。イベント時は検温・体調確認・手洗い・消毒・マスクの着用・ソーシャルディスタンス確保を徹底した。

農業や自然等、笠取地域の特色を生かした事業を開催し、地域の魅力を体験してもらうとともに地域住民との交流の機会を設けた。「お茶つみ体験」「田んぼ体験」「ふるさとを味わおう」「しいたけの菌打ち体験」「いもほり&クッキング」「冬のぼかぼかハイキング」等

外部講師や大学生ボランティア等と連携し、より専門的なプログラムを体験する事業を実施した。「陶芸教室」「冬の木工教室」「ちびっこキャンプ」

事業後にアンケートを実施し、お客様の声を事業運営に反映した。

各事業の実施にあたってはSDGs目標「3:すべての人に健康と福祉を」や「4:質の高い教育をみんなに」等のSDGsの理念を取り込んだ事業を展開し、SDGsの取組みを広め、周知に努めた。

(4) その他自主事業

- ・ 食堂売店運営を笠取ファームに委託

食堂では地元笠取産の米を使用した食事を提供した。

売店で「春のひろば」「秋のひろば」「新春笠取市」等で野菜や特産物の販売を実施した。

食堂新メニューとして「牛丼」「冷やしうどん」を販売した。

鍋焼きうどんとグラウンドゴルフをセットにした割引プランを提供した。

- ・ 出張工作教室の実施

公民館や生涯学習センターでのイベントに出店し、施設外で予約不要の工作プログラムを提供した。

(5) 宇治市総合野外活動センター管理運営事業

宇治市総合野外活動センターの管理運営について、宇治市より指定管理者として指定され、施設の管理運営業務を行った。

令和4年度前半は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による予約キャンセルが相次いだ
が、10月以降徐々に利用が回復し、年間利用者数は77,849人と前年比で約7割増加した。8月
には開所以来の累計利用者200万人を達成した。

《宿泊利用者数》24,655人 《日帰り利用者数》53,194人 《総利用者数》77,849人

各種契約内容の見直しと、当初見込みよりも宿泊客が減少したことに対応して、人員構成の見直し、効率化をすすめた結果、当初予算より約620万円の経費を削減した。一方で落雷事故の改修等で修繕費が当初予算より約150万円の増額となった。

また電気料金がロシアのウクライナ侵攻等の社会情勢の変化による影響で高騰し、節電に努めたものの当初予算額より約220万円の増額となった。

利用料金収入においては新型コロナウイルス感染症の影響もあり、繁忙期の上半期を中心に予約キャンセルが多く当初予算額より約760万円の減収となった。

電気料金の高騰とコロナ禍という予想されていなかった影響について、リスク分担にかかる宇治市との協議の結果、約390万指定管理料を増額する形で変更契約を締結した。

【主な取り組み】

○新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として一部の施設や備品類の利用を制限した。

利用者には手指消毒・手洗い・うがい・マスクの着用・ソーシャルディスタンスの確保・屋内での換気に協力を依頼した。

○テントエリアの拡大

フリーテントサイトの需要拡大に対応し、従来の2区画から4区画にエリアを拡大した。

○ホームページのリニューアル

ホームページのデザインを一新し、お客様が必要な情報にアクセスしやすいページに改善した。あわせてサーバー契約も見直し、経費の削減につなげた。

○キャッシュレス決済の導入

現金以外の支払い方法に対応するため決済システム（Air ペイ）を導入し、各種クレジットカード、電子マネー、QR で支払えるようになりお客様の利便性向上を図るとともに、現金徴収、精算事務の短縮等、業務効率の向上につなげた。あわせてレジアプリも導入し受付事務の効率化を図った。令和4年9月の導入以降、各種キャッシュレス支払いの利用割合は27%あった。

○有限会社笠取ファームとの協力体制

植栽管理ならびに清掃作業を委託し、清潔感と開放感あふれる環境を維持した。

日常的な課題や食堂、売店の改善に向けた取り組みについて、毎月定例会議を実施した。

地元笠取地域の野菜や特産品を販売する「笠取市」の開催や、農業体験、ふるさと体験イベントに協力し、お客様と地域住民との交流の場を提供した。

○宇治市との連携

宇治市教育委員会の担当部署である生涯学習課と月1回の定例会議を開き、施設の最新状況や修繕計画等について協議し、連携を密にした。

○えほんの森整備

宇治市教育委員会の読書推進活動との連携事業として、管理棟ホール図書コーナーに新たに幼児向け絵本コーナー「えほんの森」を設けた。

○学校利用の調整

宇治市内をはじめとする小学校林間学習の日程調整や合同施設説明会を実施し、効率よく施設をご利用いただけるよう努めた。

○各種修繕工事の実施

7月に発生した落雷事故により自動火災通報設備、電話機、各種メーター、非常呼出し装置等、電子機器が複数故障した。随時修繕にあたったが、自動火災通報設備の復旧までの間、宿直の増員や夜間巡回点検を増やす等、安全対策を実施した。

○情報発信

SNS（Instagram、Twitter、Facebook）を毎日更新し、施設の情報発信に努めた。

メールインフォメーション登録者にイベント情報等を発信した。

○図書館との連携

宇治市立図書館と連携し、笠取地域の利便性向上につなげるため、新たな予約図書受取所としてアクトパル宇治で配本サービスを開始した。

2-2. 収益事業

宇治市総合野外活動センターの運営において、体験活動や学校教育活動などを目的とせず、宿泊施設のみの利用や企業の研修利用なども受け入れた。

3. 積立事業

工作棟において開設当初から使用している電気陶芸窯の老朽化が進んでおり、人気の高い陶芸プログラムのサービスを維持するため令和5年度に新たな陶芸窯を取得する目的で、工作棟の陶芸窯を購入する費用として令和元年度から170万円を限度額として積み立てを実施し、令和4年度で満額を積み立てた。

野外活動奨励事業・野外活動体験事業 事業一覧




公益目的を達成するために、野外活動はもちろん陶芸をはじめとした工作棟での製作や大小の天体望遠鏡を活用した天体観察など、さまざまなジャンルで年間約50のイベントを実施した。

感染症対策を徹底して事業を実施し、野外活動奨励事業ではイベント出店者を減じ、活動体験事業では定員をコロナ前の6割程度、短時間での実施とするなどいわゆる三密回避に努めた。

◎野外活動奨励事業 (6,314人)

開催日	事業名	目的	SDGs 目標
4月3日(日)～	つくってあそぼう！ (全19回)	参加費無料・予約不要でできる工作イベントを他イベントの無い日曜・祝日を利用し、気軽に工作を楽しめる機会を提供した。 《参加者 全19回 計185人》	
4月8日(金)	春のグラウンド・ゴルフの日&講習会	グラウンド・ゴルフ場を無料開放し、初心者向け講習会を開催することで、生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフの普及を図った。 《参加者 57人》	
4月10日(日)	春のひろば (例年は春まつり)	桜が見ごろの時期に地元特産品の販売や市民グループ・障害者施設の出店を行うことで、市民が自然に親しむ機会を創出し、地域振興・交流の機会につなげた。 《参加者 1,163人》	
5月3日(火・祝)～	クイズラリー (全15回)	アクトパルを散策しながら季節にちなんだクイズに答えて、施設を楽しく巡る機会を創出した。 《参加者 全15回 計103人》	 
6月5日(日)	アクトパルであそぼう！	新緑の時期にクイズラリー、じゃがいも収穫体験、工作などの自然豊かな施設の特徴を生かした多彩なイベントを実施することによって、市民が自然に親しむ機会を創出した。 《参加者 787人》	 
6月11日(土) 中止 6月18日(土) 6月25日(土)	ホタル観察の日 (全2回)	笠取川に生息するホタルの生態を学びながら自然保護の啓発につなげ。またこの時期にしか見られない笠取の自然観察に親しむ機会を創出した。 《参加者 全2回 計657人》	 

開催日	事業名	目的	SDGs 目標
8月11日(木・祝)	山であそぼう!	山の日にちなんで、川の生物調査、標本展示、工作などを実施し、山の自然を身近に感じてもらう機会にした。 《参加者 498人》	
9月2日(金)	秋のグラウンド・ゴルフの日&講習会	グラウンド・ゴルフ場を無料開放し、初心者向け講習会を開催することで、生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフの普及を図った。 《参加者 34人》	
9月19日(月・祝) 中止	ご来場者200万人達成記念 お客様感謝デー	記念式典の後、感謝企画として抽選会や野菜市、スポーツ広場等を催し、アクトパルにより親しんでもらう機会とする予定だったが、台風接近のため中止とした。	
10月10日(月・祝)	秋のひろば (例年は秋まつり)	(有)笠取ファーム、笠取小学校と共催し、地元特産品の販売や市民グループ・障害者施設の出店、地域の活動紹介を行うことで、地域振興・交流の場を創出した。 《参加者 941人》	
10月30日(日)	ハロウィンをたのしもう!	ハロウィンの時期に合わせて、クイズラリーや仮装ショーなどを通じて風習の楽しさを味わった。 また、えほんの森オープン記念に合わせて絵本読み聞かせ会を催した。 《参加者 497人》	
11月8日(火)	特別観察会「皆既月食をみよう!」	施設内の望遠鏡などの天体観測設備の特長を生かして皆既月食を観察した。また、天文ボランティアの活動の場を創出した。 《参加者 41人》	
12月～ 令和5年2月 (毎週日曜・祝日)	わいわいホリデー (全15回)	ゆったり過ごしてもらえる室内で、季節にちなんだ楽しい企画を盛り込み、利用促進の広報活動と冬場での楽しさを提供した。 《参加者 全15回 853人》	
12月11日(日) 令和5年 1月7日(土) 1月8日(日) 2月19日(日)	体育館であそぼう (全4回)	体育館を無料開放して、冬でもスポーツを楽しめる場を提供した。また、アクトパルの体育館を知ってもらう機会にした。 《参加者 全4回 240人》	

開催日	事業名	目的	SDGs 目標
1月～2月 (毎週土曜日)	笠取交湯会 (全8回)	笠取地域の住民を対象に大浴場を開放することにより、交流の場を提供し、地域との結びつきを深めた。 《参加者 全8回 79人》	
1月7日 (土) 1月8日 (日) 1月9日 (月・祝)	新春笠取市 (全3回)	笠取地元産野菜の販売を始め、陶器市や、豚汁・つきたて餅の販売などで新春の笠取の魅力を発信した。 《参加者 全3回 112人》	
1月21日 (土) 2月25日 (土)	星空オープンデー (全3回)	施設内の望遠鏡などの天体観測設備の特長を生かし、星空に関心を持ってもらう。また、天文ボランティアの活動の場を創出する。《参加者 全2回 67人》	

◎活動体験事業 (2, 151 人)

開催日	事業名	目的	SDGs 目標
令和 4 年 4 月 23 日 (土) 6 月 18 日 (土)	令和 3 年度続き 畑体験 ～玉ねぎとじゃがい もの収穫～	地元農家の協力により、畑での植え付け と収穫の両方を経験した。自分で植えた 苗が育ち、春を迎えて収穫、さらに調理 することで食べ物を大切にする心の醸成 につなげた。①玉ねぎ、②じゃがいも 《定員 50 人 参加①47 人 ②29 人》	 
4 月 17 日 (日)	春の野草探しとヨモ ギだんごづくり	施設内での野草摘みを通じて、食用にで きる植物を知り、摘んだヨモギを材料に しただんごを調理して食育の一助とし た。 《定員 24 人 参加 24 人》	 
田植え 5 月 7 日 (土) 8 日 (日) 稲刈り 9 月 3 日 (土) 4 日 (日) (2 グループ制)	田んぼ体験 ～田植え&稲刈り～	地元農家の協力により、田んぼで田植え と稲刈りの両方を経験した。自分で植え た稲苗が田んぼで育つのを観察し、稲穂 が垂れたタイミングで稲刈りをするこ とで、自然の恵みを体感し食べ物を大切 にする心の醸成につなげた。 《定員各 40 人 参加延べ人数 150 人》	 
5 月 14 日 (土) 15 日 (日) (2 回開催)	お茶つみ&製茶体験	施設内の茶畑での茶摘み・製茶体験とお 茶の試飲、お茶のお話など通じて宇治の 代表的な産品である茶のことをよく知っ てもらおう機会にした。 《定員各 24 人 参加①17 人 ②24 人》	 
5 月 28 日 (土) 5 日 29 日 (日)	バウムクーヘンをつ くろう！	野外でのバウムクーヘン作りに挑戦する ことによって、アウトドアの料理の奥深 さに触れるとともに、家族で協力し、作 り上げることでコミュニケーションを深 める機会にした。 《定員各 36 人 参加①38 人②37 人》	
6 月 12 日 (日) (2 回開催)	陶芸教室～入門編～	陶芸をはじめたい人のために初心者向け の教室を開催し、陶芸に親しんでもらう とともにより上級の作品に取り組むこ とができるように案内した。 《定員各 24 人 参加①18 人②19 人》	
6 月 25 日 (土) 26 日 (日) (4 回開催)	掘りたてを味わお う！じゃがいも畑の くいしん坊	笠取ファーム所有の畑でじゃがいも掘り を体験し、掘りたてのいもをその場で調 理して試食し、農業体験の楽しさを知る 機会とした。《定員各 24 人参加①26 人② 11 人 ③21 人 ④10 人》	 

開催日	事業名	目的	SDGs 目標
7月16日(土) 17日(日) 18日(月・祝) (3回開催)	流しそうめんセット をつくろう!	家族で協力し、竹で流しそうめんの台や 食器づくりをすることでモノづくりの楽 しさを共有し、家族の絆を深める機会と した。 《定員各24人①22人②21人③23人》	
7月23日(土)	虫ムシ大作戦	虫捕りや観察を通じて身近な自然に親し み、豊かな生態系を守ることの大切さを 学んだ。 《定員24人 参加29人》	 
7月24日(日)	藍染をたのしもう!	アクトパルで育てた藍の乾燥葉を利用 し、藍染講師の指導で、ハンカチや綿素 材のものに模様をつける藍染の実技を通 じて伝統工芸について学ぶ機会とした。 《定員24人 参加13人》	 
8月7日(日) (2回開催)	夏休み親子工作デー	夏休みに親子が協力して木工作品作り に取り組むことにより、親子の協力関係 を築くきっかけづくりを行うとともに、 講師の指導で工作道具の正しい使い方な ども学び、モノづくりの楽しさを体感 いただいた。 《定員24人 ①13人②11人》	
8月27日(土) ~28日(日)	家族 de キャンプ	キャンプ経験のない家族が気軽に参加 できて、普段と違った環境の中での家族 内のコミュニケーションづくり、キャンプ やアウトドアに親しむ契機となること を目指した。 《定員24人 参加者23人》	 
9月10日(土) 11日(日) (2回開催)	アウトドアクッキング	地元のイタリア料理店のシェフに生地 づくりから教わる窯焼きピザづくりを 体験することを通じて、アウトドア での料理を楽しむ、食育につなげた。 《定員各24人 ①22人 ②23人》	 
10月2日(日) 中止	ちびっこアウトドア	初対面の子ども達が協力して野外炊飯・ 工作等を行うことで交流を図るととも に野外活動の場を創出し、学生ボラン ティアをリーダーにすることで学生が 野外活動の指導力を習得する機会と する予定だったが新型コロナウイルス感 染症の影響で中止した。	 

開催日	事業名	目的	SDGs 目標
10月22日(土) 23日(日) (2回開催)	いもほり&クッキング	畑でさつまいもを収穫した後、とれたてのさつまいもを使って炊事棟で簡単なお菓子類を作ることによってアウトドアでの料理を楽しみ、食育につなげた。 《定員各24人 参加①21人②24人》	
11月5日(土) 令和5年 3月5日(日)	畑体験 ～玉ねぎの苗と種いもの植え付け～	地元農家の協力により、畑での植え付けと収穫の両方を経験する。自分で植えた苗が育ち、春を迎えて収穫、さらに調理することで食べ物を大切にする心の醸成につなげた。(収穫は令和5年4月と6月に予定) 《定員50人 参加延べ人数44人》	
11月6日(日) (2回開催)	燻製をたのしもう!	簡単な方法で、肉をはじめ意外な食材を燻製することによって、野外ならではのクッキングを身近に感じてもらえる機会とした。また、燻製の技法を知ることで無駄のない食材の消費を考える機会とした。 《定員各24人 参加①19人②16人》	
11月13日(日)	おそとで楽しむ そば打ち体験	野外炊事棟でそば打ちを体験することでそば打ちを身近に感じ、ふるさとの食文化や手作りの楽しさを体感する機会とした。 《定員30人 参加20人》	
11月19日(土) 20日(日) (2回開催)	ふるさとを味わおう	ひき臼を使ったきなこづくり、杵と臼を使ったもちつきを通して、地域に伝わる昔の道具の使い方や食べ物の文化に触れるたり、大根を引いてその場(畑)で調理し、味わうことで農業体験の楽しさを体験いただいた。 《定員各24人 参加①21人②24人》	
11月23日(水・祝) 中止	秋のピクニック	紅葉を楽しみながら施設周辺の里山を歩き、樹木の説明などで自然との接し方を学んだり、落ち葉焚きで笠取産の焼き芋を味わい、アクトパルの魅力を体感してもらう予定だったが雨天のため中止した。	



開催日	事業名	目的	SDGs 目標
12月4日(日) (2回開催)	クリスマスリースづくり	施設周辺の植物など自然の素材を生かしたオリジナルのリースづくりを通して、豊かな自然やモノづくりの楽しさ、クリスマスリースの由来を知った。 《定員各24人 参加①14人 ②15人》	
12月11日(日) (2回開催)	ダッチオーブンでケーキをつくろう!	クリスマスの時期に合わせて、野外炊事の道具を使ってのケーキづくりや、施設内のゆずを使ったゆずジャムづくりを行うこととで、アウトドアでのクリスマスを楽しんでもらう。 《定員各24人 参加①21人 ②16人》	
12月18日(日)	アクトパル de サバイバル	初心者向けの火起こしや野外炊事、冬キャンプレクチャーなどアウトドア体験を通じて、身近な自然に親しむきっかけづくりを催した。 《定員24人 参加19人》	 
12月24日(土) 12月25日(日) (2回開催)	ミニ門松・鏡もちづくり&もちつき	迎春準備としてのミニ門松づくりともちつきからのミニ鏡もちづくりを体験することで、古くから受け継がれている伝統や風習に親しんだ。 《定員各24人 参加①17人 ②24人》	 
令和5年 1月9日(月・祝) (2回開催)	陶器のランタンづくり	切り絵象嵌の技法を用いて筒状のランタンを作り、陶芸の楽しさに触れてもらった。 《定員各24人 ①18人 ②15人》	
1月15日(日)	冬のぼかぼかハイキング	笠取の旧跡を巡りながら里山を歩き、冬ならではの笠取の自然を体感するとともに、地元農家のシイタケ栽培の見学など笠取の農産品を知ってもらい地元との交流も図った。 《定員24人 参加15人》	 
1月22日(日)	冬のアウトドアクッキング	冬ならではの温かい料理をダッチオーブンを使って家族が協力して作って食べることで、家族の絆を深める場を提供するとともに、冬のアウトドアの楽しみ方を知るきっかけとした。 《定員24人 参加21人》	 

開催日	事業名	目的	SDGs 目標
2月11日(土・祝) (2回開催)	陶芸教室～入門編～	コロナ対策のため電動ろくろを使わない入門編に変更した。初心者向けの土ひねりで、陶芸に親しんでもらうとともにより上級の作品に取り組むことができるように案内した。 《定員各24人 ①18人 ②19人》	
2月12日(日)	椎茸の菌打ち体験	地元農家を講師に招き、しいたけの菌うちやほだ木の育て方を学ぶことを通じて笠取の農業・特産品を知るきっかけにした。 《定員24人 参加28人》	 
2月19日(日) 2月23日(木・祝)	手打ちうどん教室	うどん打ちの講師による笠取の名水を使ったうどん作りを通じてふるさとの食文化や手作りの良さを学んだ。 《定員各24人 ①16人 ②21人》	 
2月25日(土) ～26日(日)	冬の木工教室	2日間かけて本格的な木工作业に取り組むとともに、木工を楽しむ市民グループを講師に招き、活動の場を創出した。 《定員24人 参加16人》	
3月18日(土) ～19日(日)	ちびっこキャンプ	初対面の子ども達が協力して野外炊飯・工作等を行い交流する中で野外活動の場を創出した。また、学生ボランティアをリーダーにすることで学生が野外活動の指導力を習得する機会とした。 《定員20人 参加19人》	 
3月26日(日)	BBQをたのしもう！	家族で野外BBQを楽しめるよう、野外炊飯の基本やコツなど実践を通じて習得する機会とした。 《定員24人 参加15人》	

◎活動体験事業（単発事業を複数回実施）

開催日	事業名	目的	SDGs 目標
令和4年 ① 4月23日（土） ② 6月4日（土） ③ 7月2日（土） ④ 9月10日（土） ⑤10月1日（土） ⑥11月3日（木・祝） ⑦11月26日（土） ⑧12月17日（土） ～18日（日） 令和5年 ⑨3月12日（日）	天文教室 「春の星座と星座ジグソーパズル」 「ブラックホールについて知ろう」 「七夕の星&プラネタリウム体験」 「中秋の名月と月見団子づくり」 「星の立体地図をつくろう」 「使いやすい手作り天体望遠鏡をつくろう」 「接近する火星と惑星について知ろう」 「わくわく宿泊天文教室」 「太陽について知ろう！」	天体観察だけではなく、テーマに合わせた話や工作・実験などを交えて、奥深い天文の世界に触れる機会とした。 《定員各24人 参加 ①18人 ②18人 ③20人 ④18人 ⑤12人⑥18人 ⑦17人 ⑧15人⑨18人》	
令和4年 ① 4月16日（土） ② 5月21日（土） ③ 6月11日（土） ④ 7月2日（土） ⑤ 9月17日（土） ⑥10月1日（土） ⑦11月4日（金） ⑧12月3日（土） 令和5年 ⑨ 1月6日（金） ⑩ 2月18日（土） ⑪ 3月4日（土）	グラウンド・ゴルフ大会	グラウンド・ゴルフを通じて、自然とのふれあいや人々の交流の場を提供した。 《定員各50人 ① 48人 ②45人 ③49人 ④45人 ⑤57人 ⑥43人 ⑦54人 ⑧63人 ⑨54人 ⑩53人 ⑪61人》	
● 3月17日（金）	●チャンピオンシップ大会	1年の成果を確かめるために年間通算成績上位の方を対象にした大会を開催する。 《参加46人》	

◎活動体験事業（年間通じて申し込み）

開催日	事業名	目的	SDGs 目標
令和4年 ① 5月22日（日） ② 7月10日（日） ③ 9月25日（日） ④ 11月27日（日） 令和5年 ⑤ 2月4日（土） ～5日（日）	アウトドアクラブ （全5回）	年5回の連続講座で、初回は火おこしなどのアウトドアの基礎を学び、ステップアップしながら最終回はキャンプ場で宿泊し、自立してアウトドア活動ができる内容とした。また、新企画につなげられるよう新たなメニューのモニターになっていただいた。 《定員24人①24人 ②27人 ③26人 ④23人 ⑤27人》	
令和4年 4月5日（火） ～令和5年3月31日	陶芸クラブ （全74回）	年間登録しているクラブ員が対象で、毎月6回程度設けた活動日に通年で陶芸に親しんでもらった。また成果を発表する機会として、秋のひろばにあわせて展示会を催した。 《クラブ員45人 延べ参加数792人》	

理事会・評議員会開催状況			
(1)理事会			
回数	開催日時	番号	件名
第1回	令和4年6月11日	議案第1号	令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について
		議案第2号	令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について
		議案第3号	令和4年度第1回評議員会の招集について
		報告第1号	代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告
		報告第2号	令和3年度指定管理者事業報告書の提出について
		報告第3号	令和3年度宇治市出資法人自己評価報告書の提出について
第2回	令和5年3月5日	報告第4号	令和4年度宇治市総合野外活動センター利用状況及び事業実施状況について
		報告第5号	代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告
		議案第4号	令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画について
		議案第5号	令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター収支予算について
		議案第6号	令和4年度第2回評議員会の招集について
(2)評議員会			
回数	開催日時	番号	件名
第1回	令和4年6月27日	議案第1号	令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業報告について
		議案第2号	令和3年度公益財団法人宇治市野外活動センター決算報告について
		議案第3号	監事の選任について
		議案第4号	評議員の選任について
		報告第1号	令和3年度指定管理者事業報告書の提出について
		報告第2号	令和3年度宇治市出資法人自己評価報告書の提出について
第2回	令和5年3月26日	報告第3号	令和4年度宇治市総合野外活動センター利用状況及び事業実施状況について
		報告第4号	令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター事業計画について
		報告第5号	令和5年度公益財団法人宇治市野外活動センター収支予算について

理事・監事・評議員名簿

(1) 理事・監事名簿

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名
代表理事	杉本厚夫
業務執行理事	藤原千鶴
理事	新谷和久
理事	遠藤浩
理事	横川ひとみ
理事	西川治
監事	國谷和正
監事	井内徹

(2) 評議員名簿

(令和5年3月31日現在)

役職名	氏名
評議員	中根光一
評議員	栢木廣和
評議員	森正子
評議員	小槌晶乃
評議員	安田修治